

“鮮度一番！”

No.166

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

1～2 / 明日への一步 ～宮城からの復興だより～第7回

2～3 / ひとことコラム

3～5 / 運営委員会で話されたこと

6 / お知らせ

投稿を募集しています 編集後記

寒中お見舞い申し上げます。



本年も変わらぬお付き合いをお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝と多幸を心よりお祈り申し上げます。

三条女性会議では、会員の皆様とはもちろんのこと、一人で悩んでいる人、自分の活動をアピールしたい人等、大勢の人達とつながっていきたくと思っています。どうぞ、いつでも誰でも、どんなことでも気軽にお声をおかけください。

まだしばらくは厳しい寒さが続くようですが、どうぞご自愛くださいませ。

三条女性会議代表 野崎ミチコ

明日への一步

～宮城からの復興だより～

第7回

「三条と宮城・つなぐレクチュエ」

2013年になりました。今年も引き続き宮城からの便りをお届けしていきますので、よろしくお願い致します。

東日本大震災の発生から間もなく2年が経ちます。昨年のお正月は、まだ新年を祝う気持ちになどなれない…という声が多く聞かれましたが、今年の宮城では復興への期待も込めて、年賀状のやりとりを再開した方も多いようです。今年は宮城、東北、そして日本において、明るいニュースが少しでも増えることを願わずにはられません。

さて、一昨年は三条市でも、7.29新潟・福島豪雨水害が発生しました。私は三条市災害ボランティアセンターの一スタッフとして県内外から駆けつけてくださった災害ボランティアの活動

調整に携わりました。その際、信濃川の増水により被害を受けた果樹園農家の皆さんと出会いました。

その中の一人 土田農園の土田広樹さんから、「農園復旧のために全国からボランティアが駆け付けてくれて、たくさんの温かい言葉をもらい本当に励まされた。自分の経験を振り返ると、東北で被災した方々のことを他人事とは思えない。一足早く再建できた自分から、東北の人たちにエールを送りたい。」というご連絡をいただいたのは一昨年冬の冬のことです。ルレクチェの出荷時期ということもあり、早速、水害を乗り越えた土田さんのルレクチェを宮城に送っていただくことになりました。

送り先としてご紹介したのは、宮城県北部にある美里町です。美里町は内陸にあるため津波の被害は受けませんでした。地震による被害は大きく、避難生活を続けられている方も多くいらっしゃいます。町内に建てられた応急仮設住宅には、町内外から避難された方が当時64戸入居されていました。そうした方々の暮らしを日々見守っている美里町社会福祉協議会の皆さんが、年末の挨拶に戸別訪問を行う際の手土産として、ルレクチェを活用していただきました。

ルレクチェは宮城ではとても珍しい果物ですので、三条からの贈り物として、大変喜んでいただいたようです。その声は土田さんにも伝わり、ありがたいことに、昨年末にも美里町にルレクチェを送っていただきました。「東日本大震災の被災地支援」というと、沿岸部の津波被害のあった場所を思い浮かべる方が多いかもしれません。そのような中、美里町において今なお避難生活を続けておられる皆さんに、土田さんのエールは温かい励ましとなって届いたことと思います。

美里町社会福祉協議会の永沼威雄さんは、「東日本大震災があったこと、避難生活を続けていらっしゃる方がいるということ、どうか覚えていてほしい」と言います。「震災関連の報道はすっかり減ってしまい、あれだけ甚大な被害があったことも、忘れられてきている気がしてならない。そのような中で災害を通して生まれた三条とのつながりには、大きな力をいただいた。このつながりを多くの町民に伝えたい。」

災害がつないだ三条市と美里町の絆。こうした心の通うご支援は、復興への歩みを優しく温かく、支えてくださっています。

支援者のための支援センターTOMONY 事務局
一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン防災・福祉学習コーディネーター
菅原 清香

・・・ひとことコラム・・・

私はいじめられていた

H. M

今の職場で働き始めて2年2ヵ月になる。数ヶ月前まで私はいじめられていた。50人中男性は1.5割程度で女性が多い職場。ペアやチームでの業務となる。未経験の仕事についての私は、緊張し、一日一日をなんとか終えていた。しかし、周囲は何もできない新人の私をサポートしながらの業務は労力を要し、ストレスもあったに違いない。「いじめ」は、同じグループに所属するボスAさん（私と同年齢の女性）と30代女性がストレートで、（それに追従する者、見て見ぬふりをする者、親切な人、マイペースな人たちがいた）いつ何を言われるかと緊張し、冷静に仕事を覚える

ことができなかった。「気分をガラッと変える考え方」の本を読んだり、知人にグチったこともあった。しかし、誠実にがんばれば、いつかは受け入れてもらえると思っていた。

第1の転機は、別のグループのリーダーの男性が私に「Aさんてあなたの教育担当ですか。」と聞いてきた。違うと答えると「俺だったらとても耐えられない。」と言った。私はその言葉で、どれだけ救われたか…。

第2の転機はその後すぐ。本当の教育係の男性と外出する業務があり、「主任たちも俺もAさんがあなたにきつく当たっているのは分っているけど、自分もそうされるのが怖くて何も言えないんです。すみません。」と彼に言われた。私は内心嬉しかったが、「大丈夫ですから。」と答えた。

第3の転機か？その頃から私にも少しゆとりが出て「いつも皆さんに迷惑掛けてすみません。」と手作りケーキを持って行ったら喜ばれ、いろいろ反応があった。ボスのいじめはその頃から落ち着いてきた。

第4の転機は、他グループの20代前半の女性が私を愛称で呼ぶなど、コミュニケーションができてきたこと。今はパソコンを打っていると助けてくれたり、夜勤の時の協力体勢もバッチリで夢のよう。ボスとも飲み会に車に乗せてもらったり。石の上にも3年と言うが、もうイジられキャラだって平気だ。次男の話によると「イジられキャラっていうのは可愛がられているって事なんだから、いいんだよ！」だそうだ。



運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成25年1月9日(水) (AM9:30~11:30)

場 所 男女共同参画センター

2013年を迎え、また新たな気持ちでスタートです。
年末の大掃除による断捨離で、自分の大切なモノが何か見えてきたかな～？
次回の運営委員会は、2月6日(水) 9:30～男女共同参画センターです。
どなたでもおいで下さい。

1.

新年を迎えて

年の初めに、各運営委員より自分の近況や今年の抱負について話しました。月一回の運営委員会ですので、一回欠席すると大分「お久しぶり感」があります。

話題は、各々の家庭や地域、商売や職場での話が出ましたが、いずれも明るく前向きな発言でした。「今年は、酒を飲んでも、酒に飲まれないようにする！」に集約(?)されるように、周りの人とのコミュニケーションを大切にして、更なる自己実現を目指していくということで、まとめさせていただきます……。

2. 寒ブリ新年会(1/12)について

9日の運営委員会の時には、準備の話でしたが、12日(土曜日)に19名が集まり、賑やかに寒ブリ新年会を開催しました。会場は、早川さん所有の「地域の茶の間「わっち。」」です。

テーブルにならんだご馳走は、10kg寒ブリのお刺身、ブリシャブ、ブリ大根、貝だくさんみそ汁、野菜サラダ、レンコンチップス、赤大根の甘酢漬、薩摩芋のレモン煮、貝柱の炊き込みご飯などなど。

後は、「飲んで～、飲んで～、飲まれて飲んで～」(唄：河島英五)でした。

佐渡から寒ブリの橋渡しをしてくれた宇治さん、寒ブリを提供してくれた早川さん、お刺身にしてくれた魚屋のおじちゃん、田辺春男さん、近藤洋子さん、お料理をしてくれた渡辺さん、安室さん、そして楽しい時間を作ってくれた皆様、ありがとうございました！！

この記事を読んで生唾を飲み込まれた皆様(失礼)、どうぞ次回のご参加をお待ちしています～。



3. 縄文^{がく}築検定事前講習会について

当会では、総会の記念講演や11月に行った「大人の女性のためのただツアー」で勝山百合さんより、下田の遺跡についてお話しをお聴きしました。そこで遺跡を身近に感じておられるのではと生涯学習課埋蔵文化財調査室の高野さんより上記の案内がきました。5ページに案内を載せましたのでご参加下さい。

第1講は、終わってしまいましたが、第2講からでもOKとのことですので、この機会にあなたも「縄文歴女」(造語)になってみませんか？

4. 審議会等について

西方さんより下記の報告がありました。

第2回三条市男女共同参画審議会の報告

西方久子

11月26日、第2回三条市男女共同参画審議会が市役所で開かれた。この日の議題は、「男女共同参画推進プラン実施報告(中間報告)について」9月末までに実施された事業(59項目中8項目)について、事業の工夫や目標値などを参考に評価・検討を行なった。4段階評価であるが、評価基準として量的判断?質的判断?のどちらを重視するかで、大いに議論・検討を行なった。

会報をごらんの皆様!今年度は公募審議委員がゼロで例年より寂しい(静か?)審議会でした。追加募集予定ですので、一緒に活動しませんか!期待しています。

5.

その他

◆白熱教室(毎月三条東公民館にて20日午後7時~開催)、1月のテーマは、「ふたたび いじめ」です。遅刻も早帰りもOKですので、当日会場へおいでください。

◆「なぎくんに心臓移植を」募金活動に協力をお願い

樽山在中の今井さんから田辺さん経由で下記の呼びかけがありました。

長岡市在住の神保なぎ君(2才)は、「拘束型心筋症」のため入院し強心剤の点滴をはずせない状態です。海外での心臓移植が必要であり、奇跡的にも米国のコロンビア大学病院が受け入れを受諾してくれました。そこで莫大な費用をまかなうために募金活動を開始しました。皆様の暖かいご支援・ご協力をお願い致します。

お問い合わせは、なぎくんに救う会事務局(電話 0258-37-7225)まで。
(後日、当会から、今井さんを通じて17,000円を募金致しました。)

「縄文」を「楽」しく学ぼう

〜縄文^{がく}楽検定事前講習会〜

『縄文楽検定』に合わせて事前講習会を開催します。あなたの「縄文力」を高めて検定合格を目指してみませんか。

★受講料 1,100円
(博物館の入館料、保険料など)

★申込先
三条市市民部生涯学習課
埋蔵文化財調査室
電話 46-5205

1月13日(日)午後2時~4時

- ・「縄文」を「楽」しく学ぼう
- ・地元三条の縄文遺跡を知ろう
- ・「五十嵐川流域を歩いた考古学者」見学

会場

- 中央公民館
- 歴史民俗産業資料館

第1講
終了

2月10日(日)午前9時~午後5時30分

実物必見! 信濃川火焰街道をゆく

会場

- 農と縄文の体験実習館「なじよもん」
- 十日町市博物館
- 長岡市馬高縄文館
- 新潟県立歴史博物館

第2講

3月2日(土)午後2時~4時

検定前日! 直前講習会!!

会場

- 三条市東公民館

第3講

【お知らせ】・・・定期講演会・・・

新潟県女性財団では、旬の話題を男女共同参画の視点で考える定期講演会を開催しています。今回は、『変わるお葬式、消えるお墓』の著者、小谷みどりさんを講師にお招きします。お墓について、また多様化する葬送についてのお話しをお聞きして、自分はどういう人生の最期を迎えたいのか考えてみませんか。

- ◆日 時： **3月23日（土）** 13:30～15:30
- ◆会 場：新潟県女性センター 女性団体交流室2
(新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階)
- ◆内 容：「変わるお葬式、消えるお墓」
- ◆講 師：小谷みどりさん（第一生命経済研究所主任研究員）
- ◆定 員：60人（先着順）
- ◆参加費：500円（三条女性会議会員は無料）
- ◆保育あり：要申込み。6ヶ月以上10人（先着順）
- ◆保育協力費：子ども1人200円
- ◆保育締切：3月9日（土）

申込み・問い合わせは、新潟県女性財団

(電話025-285-6610)まで。



◆会報「鮮度一番！」への投稿を募集しています

「鮮度一番」では、あなたの男女共同参画社会への気づきについての文章を募集しています。一人ひとりが体験した生活での気づきをみんなで共有できたらと願うものです。本名やイニシャルでの掲載、文字数等柔軟に対応致します。

どうぞあなたの声をお寄せ下さい。

《送り先》

- 三条女性会議 E-mail: info@joseikaigi.net
- FAX 0256-32-3679
- 〒955-0044 三条市田島 2-12-12

編集後記：

平成25年が明けました。本年も鮮度の良さを一番に、わかりやすさを大切にお送りします。お付き合いよろしくお願ひします。

今年の初荷 鮮度一番 166号お届けします。どうぞ隅から隅までお読みください。(原)

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>